

## 地域医療連携室から新年のご挨拶

富山ろうさい病院 地域医療連携室 室長補佐 馬淵典子



あけましておめでとうございます。

富山ろうさい病院は、昨年11月7日 地域の皆さまの多大なるご協力のもとに58年ぶりの新病院への移転を無事行うことができました。心より感謝申し上げます。また、移転後は駐車場が遠くなり、仮玄関を用いての稼働になっているため院内もわかりにくいなど、大変なご不便をおかけしていますことをお詫びします。案内体制を強化し、少しでも皆さまのご不便を解消できるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。正面玄関の完成は、本年4月の予定です。冬 寒い時期にご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしく申し上げます。

さて、新しくなった病院のエントランスにドアが二つ。「地域医療連携室-がん相談支援センター、医療安全に関する相談室、治療就労支援部」と「皆さまの相談室」があります。地域医療連携室は、かかりつけ医として一次医療を担って頂いている地域のお医者様からのご紹介患者さんや当院での治療後、かかりつけ医を紹介することにより、病院完結型の医療ではなく、患者さんの病状や利便性を考慮した上での地域での医療を展開する為に速やかな連絡調整を行うよう努めて参ります。また旧病院では奥まった場所にあり、その存在すらわかりにくかった「皆さまの相談室」には、メディカルソーシャルワーカー、がん相談員、緩和ケア認定看護師が常駐し、がん相談の他、超高齢化が進むこの地域での在宅医療や施設への連携、また病院への質問などすべてのよろず相談所としてご相談いただける場所づくりをしていきたいと思っております。「皆さまの相談室」のドアは、相談をしていない時には常にオープンにしています。お気軽に声をおかけください。また、この二つの部屋は常に連携しています。「皆さまの相談室」で相談したら直ぐに連携に繋ぎ、「地域医療連携室」にいただいた連絡を基に相談したり、お互いの機能をフルに活用して、患者さんが地域で気持ちよく暮らしていけるよう努力していきたいと思っております。

また、地域医療連携の仕事は幅広く、地域で共に患者さんを支える医療職の方を初めとして医療職以外の職種の方たちとも共に研修を行ったり、交流をしたり、「医療連携」だけでなく「地域」でのつながりを大切にしていきたいと思っております。この「ろうさいだより」もその一環です。地域での暮らしや情報にアンテナを張り、当院を訪れてくださる皆さまのお役にたてる情報を常に発信して行きたいと思っております。今年いっぱい、旧病院の取り壊し、駐車場の整備などで、まだまだご迷惑をおかけしますが、なにとぞご協力をお願いします。

来年（平成30年）1月のグランドオープンに向けて、皆さまと共にこの1年を素晴らしい年にできますようよろしくお願い申し上げます。

